

市民ワークショップ 結果概要

実施目的

第3次大崎市総合計画等の策定にあたり、各施策に可能な限り市民の声を反映するため、市民の方を対象にワークショップを開催しました。本イベントでは、人口減少が進む中でも、大崎市の魅力を未来に守り育てるために何が出来るかを考え、「豊かさをつなぐしくみ」のヒントなどをお聞きする場とし、これからの大崎市のまちづくりについて意見交換を行いました。

実施概要

| 地域 | 開催場所 | 実施日時 | 参加人数 |
|--------|-----------------|------------------------------|------|
| 古川地域 | 大崎市役所本庁舎 | 令和7年12月6日(土) 10:00~11:30 | 25名 |
| 松山地域 | 松山公民館 | 令和7年12月13日(土) 14:00~15:30 | 27名 |
| 三本木地域 | 三本木公民館 | 令和7年11月24日(月) 10:00~11:30 | 24名 |
| 鹿島台地域 | 鎌田記念ホール | 令和7年11月24日(月) 14:00~15:30 | 24名 |
| 岩出山地域 | 岩出山公民館(スコーレハウス) | 令和7年12月20日(土) 10:00~11:30 | 33名 |
| 鳴子温泉地域 | 鳴子公民館 | 令和7年12月15日(月) 18:30~20:00 | 44名 |
| 田尻地域 | 沼部公民館 | 令和7年12月13日(土) 10:00~11:30 | 27名 |



実施内容

テーマ 未来につなげたい『大崎らしい豊かさ』

- ①大崎市のみんなが知っている魅力・私しか知らない魅力掘り出し大会
- ②大崎らしい豊かな暮らしをイメージする
- ③大崎らしい豊かさとは？一言であらわしてみる
- ④豊かさを未来につなげるために私のやってみたいこと
- ⑤この豊かさを実現・実践するためにみんなで大切にしたいこと
- ⑥今日の気づき・発見

お問い合わせ

大崎市市民協働推進部政策課
 電話：0229-23-2129 FAX：0229-23-2427
 E-mail：seisaku@city.osaai.miyagi.jp



こんな意見ができました 市民ワークショップの結果まとめ

テーマ① 大崎市のみんなが知っている魅力・私しか知らない魅力掘り出し大会

大崎市の魅力として、計2,262件のキーワードがあがりました。以下の15カテゴリに分けて集約したところ、最も多かったのは、「自然・動物」(534件)、次いで「食」(368件)、「観光・レジャー」(292件)、「文化・著名人」(249件)などとなりました。

| カテゴリー一覧 | | | |
|---------|------|-------|-----|
| 自然・動物 | 534件 | 公共施設 | 88件 |
| 食 | 368件 | 学校・教育 | 46件 |
| 観光・レジャー | 292件 | 環境 | 43件 |
| 文化・著名人 | 249件 | 商業施設 | 28件 |
| 人・交流 | 201件 | 各種団体 | 10件 |
| イベント | 143件 | 企業・産業 | 8件 |
| 飲食店 | 139件 | その他 | 8件 |
| 交通・アクセス | 93件 | | |



■各カテゴリであげられたキーワード

| | |
|---------|--|
| 自然・動物 | 野鳥(白鳥, 渡り鳥, 雁等)が多い・飛来する, 空気がきれい・おいしい, 田んぼ・水田, 加護坊山 |
| 食 | ササニシキ, ひとめぼれ, 米, 日本酒 |
| 観光・レジャー | 温泉, さくらの湯, 鳴子温泉, 道の駅 |
| 文化・著名人 | こけし, 土器・土偶(遮光器土偶), 吉野作造, 鎌田三之助 |
| 人・交流 | 人がやさしい・あたたかい, 人・地域とのつながり, 人柄の良さ, ボランティア活動 |
| イベント | 互市, バルーンフェスティバル, こけし祭り, 政宗公まつり |
| 交通・アクセス | 新幹線, 陸羽東線, 仙台圏への利便性, 高速道路・ICがある |
| 公共施設 | 鳴子ダム, 図書館がある・きれい, 城山公園, 市民病院 |
| 学校・教育 | 日本語学校, 野球場がある・多い(鹿島台球場, 中央球場), 鹿島台小学校のマーチングバンド, 水辺の楽校 |
| 環境 | 静けさ・静かな雰囲気, 鹿島台から鳴子まで7つの色がある(1市6町), のどかなところ, 治安が良い(事件, 事故が少ない) |
| 各種団体 | つなぐ会, 自衛隊, 見守り隊, すいせん植之隊 |
| その他 | クラッチ, あたん, 夜の9時の音楽, 深い知恵 |

テーマ② 大崎らしい豊かな暮らしをイメージする

■①であがったキーワードを使用して、「幸せな暮らしの実現に向けたストーリー」を作った結果、以下のようなストーリーがあげられました

- ① 身近な自然に“日常的に触れられる”こと
- ② 食（米・野菜・加工品）と地元の“おいしさ”が生活の中心にある
- ③ 温泉・水・におい等の“癒し資源”が、暮らしのリズムを整える
- ④ 人のあたたかさ・祭り・ご縁など、“関係性のある暮らし”を豊かさとして捉える

① 身近な自然に“日常的に触れられる”こと



- ・河川敷の公園や夕焼け、ゆっくり流れる川を「子どもと過ごす日常の遊び場」とした描写など、身近な自然に日常的に触れられるといったイメージがあげられました。
- ・鳥の鳴き声で目が覚める、空気が美味しいなど、自然環境そのものが生活の価値としてあげられました。

② 食（米・野菜・加工品）と地元の“おいしさ”が生活の中心にある



- ・稲刈りを終え、大豊作となった地元産ササニシキの新米を、家族みんなで味わっている描写など、地産の食材が生活の中心にあるイメージがあげられました。
- ・秋は「美味しいコメ」、野菜は近所から届くなど、地産地消や地域での循環が“豊かさ”として語られていました。

③ 温泉・水・におい等の“癒し資源”が、暮らしのリズムを整える



- ・仕事でストレスがたまったとき、地元に戻って温泉に入り、そこで昔からの知人と会話が弾んで笑い合うなど、温泉体験を通じて気持ちがほぐれて心が満たされるなど「癒しの契機」としてイメージされました。
- ・「温泉に入る→湯上がりに鳴子の水」など、温泉を“日常のはしご”として楽しむイメージがあげられました。

④ 人のあたたかさ・祭り・ご縁など、“関係性のある暮らし”を豊かさとして捉える



- ・移住者が「住民の温かさ」や、地域がお祭り等を催す姿から“地域への想い”を感じるとイメージされていました。
- ・まちの魅力を伝えたり、人を紹介したりする「目に見えないご縁」を幸せとして語り、祭りで神輿を担ぐことが誇りとしてイメージされました。

／ こんなストーリーがあげられました ／



さとう（24歳）女性

【家族構成】2人
【住んでいる地区】古川

さとうは古川に犬と2人で住んでいる。家族はほぼ大崎市に住んでいて、すぐに会うことが出来る、定期的にみんなで集まってお酒を飲むのが楽しい。犬も家族に会えるのが嬉しいみたい。犬と2人で暮らしているの、犬と入れるお店があったら良い。大崎市にはドッグランがないから、あったらいいな。週末は高速道路を使って、市外のドッグランにお出かけに行くのが楽しい。夕方に犬とお散歩するとたんぼ道に夕日があって、素敵なロケーションで散歩できて幸せ。夜はあったかいベッドに入って愛犬と一緒に眠る幸せ。



コウちゃん（30歳）男性

【家族構成】4人(父,母,兄)
【住んでいる地区】松山
【趣味】温泉

コウちゃんは父母と専業農家で米と野菜を栽培出荷している。兄は市職員である。茂庭様の歴史ある城下町に住み、広大な水田を耕し、こだわってササニシキをつくっている。地下水のきれいな松山は酒蔵・一ノ蔵を生み、その酒米も手掛けている。歴史ある千石城の三の丸跡はコスモス園として、秋は松山の一大観光地としてにぎわう。この営みや風景は何としても残したい。将来結婚し、家族で守りたい。



ワン（30歳）男性

【家族構成】4人
【住んでいる地区】三本木
【趣味】旅行
【最近大変なこと・困っていること】仕事(ストレス)

ワンは仙台で仕事をしている。仕事も慣れてきた一方で、仕事量が増えてストレスが溜まっている。土日は旅行に行けない時に、近くの温泉に入って疲れをとっている。また、食を好み、お米を食べたり日本酒を飲んで気分転換をしている。四季折々に見られる大崎市の魅力にも惹かれ、特に春は桜、冬は白鳥と自然の豊かさに癒されている。そして晴れている日、仕事帰りに車から見える夕焼けを見て、リフレッシュして目に見える楽しみを感じて過ごしている。



トーちゃん（80歳）男性

【家族構成】3人
【住んでいる地区】鹿島台
【趣味】スポーツ
【最近大変なこと・困っていること】物忘れ

宮城県内でも人口が増えている市町村がある。大崎市でも、若い人達が増える。企業(優良企業)を持つてくるとか、働く場所がある所には、人口が増えると思います。また、子育て支援も必要。教育費の無料化も大切。まつり(ワークショッ)等、皆さんが大勢集まる所もあるが、多くの皆さんが楽しくいられる地域を元気にしたい。住んで良かった、住んでみたいと思う地域を作りたい。



こたけ (35 歳) 男性

【家族構成】父, 母
 【住んでいる地区】西大崎
 【趣味】ギター, 車
 【最近大変なこと・困っていること】
 元請からの仕事が多くて大変

こたけは, 大学を卒業してから, 東京の物流会社に SE として勤務していた。ある時ふと東京の景色に飽きてしまい, 地元西大崎に戻ってきて, 今は在宅で SE としてまた働いている。都会とは違う田園風景が仕事の忙しさを忘れさせてくれるし, 趣味の車で鬼首スキー場の方へドライブに行ったりトリフレッシュしている。この時に思うのは, 大崎には有備館や八幡神社など多くの場所に歴史的な場所があり, またひとめぼれやそれを育てる田園風景が広がっていること。このことらが大崎の豊かさや良さなのだと思うのだった。年末はまた八幡神社にお参りに行きたい, そう思うのだった。



しげ (73 歳) 男性

【家族構成】妻と 2 人
 【住んでいる地区】田尻・大貫
 【趣味】温泉巡り
 【最近大変なこと・困っていること】
 体がきつい

今は農業(米作り, 野菜作り)を副業として, 農家レストランをやっているが, 10 年後もやれているかわからない。今は毎日, 上空をマガンが朝な夕なに飛んでいて, とてものどかでこの光景が大好きである。人口は年々減少して, 地域の農業, 自然を守っていくのが大変になってくる。少しでも多くの人と関わりながら, 迎え入れながら, 農が育てる大切な職を, 一人ひとりが関わりながら守っていったらと思う。地域の人々との関わりは農村がゆえに強くしていかなければならない。少ない人々が連帯感を強く持ち, 助け合って生きていかなければならない。



ムラサキおばさん (83 歳) 女性

【家族構成】夫, 息子, 猫 5 匹
 【住んでいる地区】鳴子湯本
 【趣味】遊ぶこと
 【最近大変なこと・困っていること】
 物価高で生活ピンチ

最近思う, 10 年後生きてるかなあ…と。おいしいお米とお水…ウン, 多分私は今よりも元気に暮らしている。好きなことをして, 好きなものを食べ, 行きたい所に行つて。秋になれば, 紅葉狩り, 冬になれば雪見酒, 春になったら色々な産地についてこけしを買いあさり, そんな優雅な生活をしている。長い間夢に見てきたことを全部するんだ! 戦争中に生まれ, 戦後育ち。なにも楽しい事がなかった気がするが, 今未来に夢見ですごく幸せな気持ち。鳴子ってこんなにいい所だったんだ! 雪が降って寒くて雪かきしなくちゃならなくて, こんな鳴子嫌いだったのに…今は好き。



まるさん (20 歳) 女性

【家族構成】独身
 【住んでいる地区】東京(都心)
 【趣味】カメラ, 写真
 【最近大変なこと・困っていること】
 都会の暮らしに疲れている

バルーンフェスティバルというのがあると聞いて高速・古川 IC から岩出山に向かった。朝早い時間の冬の空気が冷たくとても気持ちがいい。青い空にカラフルな気球が沢山並んで, とてもきれい。近くに有備館という江戸時代の無事の別荘があるので, 駐車場に車を停めて歩いて向かった。脇に内川があって, 川沿いに遊歩道が整備されていて, 水の音が心地よかった。有備館の中は松林と池のデザインがとても計算されているような気がして, 写真写りがとてもよかった。車で城山公園にのぼると, 田園地帯が広がっていて, 景色がいい。小雨が降ってきたが, 田んぼに虹が大きくかかっているのを初めて見て感動した。

テーマ③ 大崎らしい豊かさとは?一言であらわしてみる

■「大崎らしい豊かさ」として, 以下の意見があげられました

- ① 自然・水・田園風景が「豊かさ」の土台にある
- ② 食が日常の豊かさを支える
- ③ 温泉が“癒し・整う”を生む地域資源として位置づく
- ④ 人のつながり・助け合いが“心の豊かさ”としてあげられる



■意見抜粋

- ・昔からの名物(かりんとうなど)。新しい名物(ジビエなど)。今も昔も愛される名酒。
- ・自然や文化が豊かで地域の人たちとのふれあい, 優しさに触れられる。
- ・四季折々の自然とそこから生まれる恵み。(農産物 etc)
- ・自然を感じながら生活ができる。
- ・自然に恵まれている(水, 緑)。人間関係が豊かで思いやりを持って接してくれる。史跡名勝がある…。
- ・泉質の多い日本有数の温泉地鳴子が奥座敷にあり, 平野には田んぼの原風景があり, 本当の日本がここにある。
- ・世界農業遺産に登録されたので, この農村風景と食を育てる農業を大切にする。

など

テーマ④ この豊かさを実現・実践するために私がやってみたいこと

■「大崎の豊かさを実現・実践するために私のやってみたいこと」として, 以下の意見があげられました

- ① 自然・水・景観などの“地域の土台”を「守る・整える」行動が先に出てくる
- ② 食・農を身近な存在として引き寄せる
- ③ 祭り・イベントを「参加」から「担い手(運営・継承)」へ踏み込む
- ④ 発信・交流・場づくりで「人の流れ・情報の流れ」をつくる



■意見抜粋

- ・生産者として種を次の世代につなげる。土地も。「PR」活動。
- ・後継者となる若い世代の人達と話したい。
- ・沢山の人に見てもらえる・気づいてもらえるような催しや宣伝, 発信。
- ・米作り・野菜作りを地域住民さんから地元の子どもたちへ伝える・教える場づくり(多世代交流)。
- ・率先してイベントに参加する。友達や家族を誘って楽しむ。インスタで発信する。
- ・美しい景色をより多くの人にも知ってもらえるようにし, 美しさを保てるよう考えている。子どもや親が安心して子育てができたり, のびのび過ごせるよう。
- ・都会と農村の交流。農村に魅力を感じてもらうことが大切だ。体験交流を続けながらみんな実践していこう。

など

テーマ⑤ この豊かさを実現・実践するためにみんなで大切にしたいこと

■「大崎の豊かさを実現・実践するためにみんなで大切にしたいこと」として、以下の意見があげられました

- ① 近所の声かけ・思いやりなど，“顔の見える関係”を大切にする
- ② 祭り・イベント・地域活動への参加と，担い手を育てる
- ③ ごみ拾い・清掃などの身近な環境行動で“地域の誇り（景観）”を守る
- ④ 地産地消・地元の食（米・食材）を，暮らしの価値として守る



■意見抜粋

- ・皆が発信できる環境。自分が受信できるゆとり。
- ・その土地柄を活かした農業，商業を守り抜くこと。
- ・声を掛け合う。協力する気持ちをもつ。独りじゃないことを実感できる雰囲気。
- ・地域の特性を考え，他の都市にない産物をつくり上げること。
- ・内川の景観を維持したい。イベントコミュニティー会場，空き家活用。
- ・地域コミュニティーの維持と交流人口の拡大に向けた取り組み。
- ・自然を守る。耕土を守るための学習会。

など

テーマ⑥ 今日の気づき・発見

■ワークショップを通しての気づき・発見として，以下の意見があげられました

- ① 「当たり前」だと思っていた資源を，改めて“豊かさの材料”として再発見している
- ② 人のつながり・価値観の多様さを知り，“共有・対話の場”自体が地域の財産だと実感している
- ③ 「自分にできること」へ落とし込む意識（発信・継続・参加）が生まれている
- ④ 守りたい思いと同時に，人口減少・高齢化等の課題への認識も強まり，次世代視点が立ち上がっている



■意見抜粋

- ・多様な世代，年齢問わずまちづくりが語れる場が必要。一人ひとりが大崎を大切に思っていることを知った。話し合いが人をつくる。
- ・人口が減少していく中でも暮らしやすい環境を整備していくことが必要。
- ・色んな人の“大崎市”を改めて目にし，新しい発見もあったし，皆大崎市が大好きな仲間だなと認識した！
- ・このような場は必要だと思います。人のために時間を使う事に喜びを感じる事ができる人間になりたい。
- ・ひとつのテーマ・魅力からもたくさん掘り下げができて，思っていたより沢山良いところが見つかった。
- ・大崎には人それぞれの豊かさがあり，もっと外部へのアピールをする必要があると思った。
- ・大崎には様々な豊かさ，守るべき宝がある。しかし，大崎に住み続ける，守るためには多くの課題があることもわかった。

など